

研修だより



世羅町立せらひがし小学校
研修だより 第7号
令和元年7月10日

今日の学年部での教材研究を受けて、指導案を作成していきます。指導案の1次締切は、7月24日(水)です。31日には、豊田先生に、送付する予定なので、よろしくお願いします。

※低学年部→理科室、高学年部→職員室、特別支援部→保健室



1 指導案の作成について

○4 単元について

○単元観

- ・ どのような力をつけたいかを明記する。

○児童観

- ・ 既習内容について明記する。
- ・ レディネステストを行う。レディネステストについては、数値だけでなく、児童の回答（誤答）の考え方・内容面の分析を行う。

○指導観

主体的な学びのための工夫

- ・ 授業の導入だけでなく、単元の最後まででの主体的な姿が見えるようにする。

対話的な学びのための工夫

- ・ 話し手と聞き手、相互の関係を意識した記述をする。

深い学びのための工夫

- ・ 授業の終わりのゴールを明確にする。→そこから逆算して、めあてを決める。

○本単元における育成すべき資質・能力【表現力】

- ・ 「せらひがしっ子に付けたい資質・能力」の、各学年のところを参考に明記する。

○5 単元の系統

- ・ 指導書の単元の系統表を載せる。

○6 本単元の目標・評価規準

単元の目標				
資質・能力	【表現力】・「せらひがしっ子に付けたい資質・能力」の表現力の、めざす児童の姿の部分を明記する。			
評価規準	関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
		【表現力】		

○7 指導計画(全 時間 本時 /)

- ・ 本時の部分を、2.25Ptで囲む。

○8 本時の展開

(1) 本時の目標

- (表現力)
- (数学的な考え方)

(2) 仮説

- (表現力)
- (数学的な考え方)

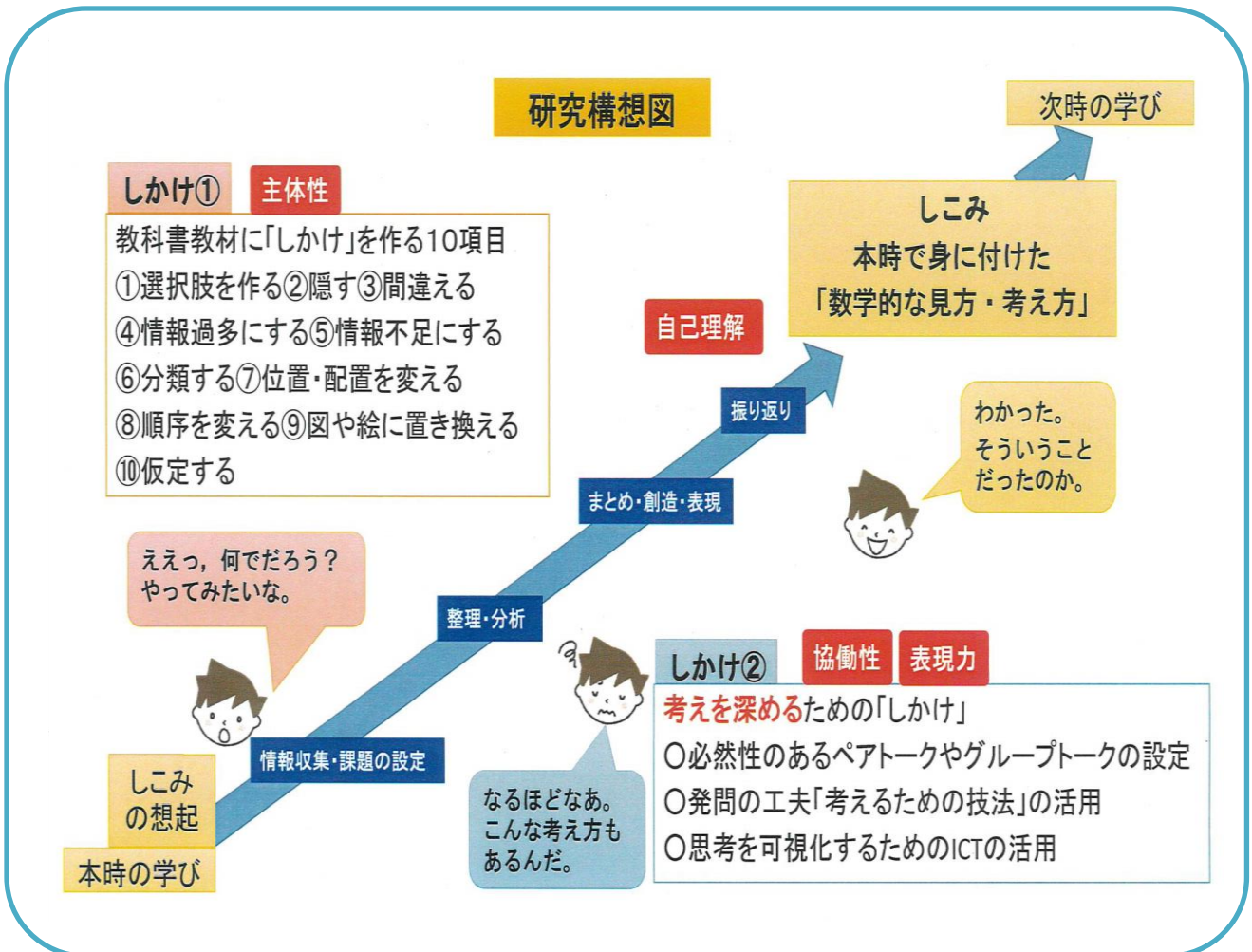
こういう活動を仕組めば、こんな力が付くだろうという仮説。

(3) 準備物

〇9 板書計画

・板書計画の写真は、6日の指導案検討が終わってから載せてください。

2 しかけとしこみについて



【1 年次】

(1) 1時間の授業の中での「しかけ」の工夫

しかけとは、「主体的・対話的で深い学び」を全ての児童に実現するための1時間の授業レベルの手立てである。

授業で最終的に身に付けさせたい学習内容を、焦点化する。1時間の授業で、子どもたちに獲得させたい数学的な見方・考え方を明確にして、本時レベルでの具体的な見方・考え方に絞り込むこと、これらのことが授業を焦点化する第1歩である。

(2) 算数科を中心とした「振り返りでの言語化」の充実

授業の始めに提示した「めあて」に対し、発言させたり書かせたりして振り返らせ、視覚化・共有化すると、児童生徒は、学習したことが明確になりやすい。

(3) 毎日の授業で継続的に行われる「しこみ」の充実

- ① **評価・価値付け**……「しかけ」によって引き出された子供の姿を評価し、価値付けることで、次時への「しこみ」となる。
- ② **イメージする活動**……児童が問題を解決するに当たり、予想したり、先を見通したりする活動。教員は、子供に何を求めるのか目的を明確にし、活動の意味やゴール像を持つ。
- ③ **振り返り**……めあてに対し、発表させたり書かせたりして振り返らせ、視覚化・共有化することで児童は学習したことが明確になる。(振り返りのレベル)